

奨励 《神学校は教会の中にもある》

東京バプテスト神学校 理事長 奥田 稔



全国壮年会連合に連なる諸教会・伝道所の皆様、3神学校（西南学院大学神学部、九州バプテスト神学校、東京バプテスト神学校）を覚え、いつもお祈りとお支えをありがとうございます。

東京バプテスト神学校は1962年9月に、日本バプテスト連盟「躍進5ヶ年運動」の一環として、信徒伝道者養成のために「東京バプテスト宣教学院」として発足し、今年で57年目を迎えました。5年後には名称を「東京バプテスト神学校」と改め、教会の多様な働き人を養成するために「神学科」「教会教育科」「教会音楽科」を設置しました。運営の主体は当初は東京地方バプテスト教会連合でしたが、1988年より北関東連合、神奈川連合の三連立神学校となり、各学科に専攻科（現在はマスターコース）を設置し、今日まで教会に仕える牧師、主事等、教役者を養成しています。2007年からはインターネット受講を開始し、日本各地だけでなく、広く世界のどこに

も学べる環境を整えました。これは教役者を指す学生だけでなく、教会に仕える信徒が、通学しなくても学べる環境ができたことでもあります。2年前から教会は神学校の貸し出し専用パソコンを教会の回線に繋げるだけで、神学校からの遠隔操作で受講可能になりました。

バプテスト教会は、信徒が隣人に福音を伝えるための聖書の学びを必要とします。最近、各神学校の入学者が減少傾向にあります。各教会で神学校の授業を体験できれば、きっと召命を受け、学ぼうとする方が興されてくるでしょう。祈りと呼びかけに加えて、教会で受講して学びの喜びを分かち合ってみてください。キリスト教大学は、全国大学数の10%になり、御言葉をきいている一般学生は多数いるのです。各教会の近くにあるキリスト教主義学校の学生に伝道する教会となっていきましょう。そのために教役者と信徒が共にみ言葉を学び、伝道を担っていきましょう。「主の業に常に励みなさい」（第一コリント15：58）

神学校献金を私のこととして

全国壮年会連合奨学金委員長 篠田裕俊

今年も神学校週間が始まります。全国の兄弟姉妹によって、神学生の学びが支えられていることを感謝申し上げます。神学校週間と神学校献金は、1979年の第13回全国壮年大会から始まりました。そして、全国壮年会連合は、神学生への奨学金を伝道者養成の働きとし、各連合に奨学金推進委員を配置して、神学校献金（神学生奨学金献金）の推進を図っております。毎年、皆様の熱いお祈りと多大なる献金をささげ下さっていることを、重ねて感謝申し上げます。

私は、神学生が、神学校、研修教会、神学寮の三つの場を通じて、牧者としての学問を十分に学んで、牧師として巣立って欲しいと願っています。そのためには、神学生が学問に集中できるように、経済的な支援が必要です。そして願わくは、奨学金はすべて給付となることを祈っています。

連盟には、教派神学校として、西南学院大学神学部以外に、東京バプテスト神学校、九州バプテスト神学校があります。現在、無牧師の教会が30教会を超え、今後、増えていくことが予想されています。伝道者養成は、ますます重要な課題となっています。また、西南だけでなく、東バプ、九バプが、伝道者養成の重要な働きとなっていくものと確信しています。

現在、連盟は、「パラダイムシフト」をキーワードに、協力伝道会議を各地で開催しています。その中で、これまでの視点を変えて見直していくことが問われています。私たちも、伝道者養成はどうあるべきかを問うとともに、奨学金制度の見直しも必要な時期にきていると思います。

神学校献金は、25名の神学生に対する奨学金として、3,000万円を目標としています。しかし、なかなか目標に達せず、2018年度は、初めて2,000万円を下回りました。私たちは、もう一度、伝道者養成としての神学校献金を、私のこととして、目標に向かって共に推進しようではありませんか。そして、全ての教会・伝道所が、神学校献金をささげくださることを願ってやみません。

神学校献金（神学生奨学金献金）の推移

年度	献金額
2010年度	2,325万円
2011年度	2,345万円
2012年度	2,228万円
2013年度	2,292万円
2014年度	2,284万円
2015年度	2,227万円
2016年度	2,235万円
2017年度	2,299万円
2018年度	1,986万円

西南学院大学神学部及び東京・九州両バプテスト神学校で学ぶ神学生

神学生氏名（学年、よみ、推薦教会）

【西南学院大学神学部】 14名 <2019年度奨学金貸与者数： 11名>	
博士前期	川久保拓也(2年・かわくぼ たくや・ふじみ野)、杉本拓哉(2年・すぎもと たくや・宇都宮)、西本詩生(1年・にしもと しなる・恵泉)、興津吉英(1年・おきつ よしひで・かたえ)、原田 賢(1年・はらだ けん・大宮)、高橋周也(1年・たかはし ひろや・花小金井)
専攻科	小櫻 信(こざくら まこと・大阪)
学部神学コース	安里道直(4年・あさと みちなお・東風平)、嶋田健治(4年・しまだ けんじ・直方)、奥村猷(4年・おくむら ささぐ・恵泉)、原田 仰(2年・はらだ こう・平尾)、吉田春濠(2年・よしだ いえらむ・博多)
選科	千葉仁志(2年・ちば ひとし・小倉春ヶ丘)、林 守鎮(1年・いむ すじん・鳥飼)
【東京バプテスト神学校】 7名 <2019年度奨学金支給予定者数： 3名(第1回連盟理事会にて決定)>	
神学専攻科	李 在浩(い じえほ・松本福音村 相模原希望伝道所)、小勝 琢生(おがつ たくお・調布南)、清水 智子(しみず さとこ・洋光台)、鶴ヶ谷 芳昭(つるがや よしあき・大井)、藤原 靖彦(ふじわら やすひこ・港南めぐみ)、舛田 栄一(ますだ えいいち・洋光台)、吉村 知子(よしむら ともこ・八王子めじろ台)
【九州バプテスト神学校】 6名 <2019年度奨学金支給予定者数： 1名(第1回連盟理事会にて決定)>	
牧師コース	香月太郎(かつき たろう・早良)、安樂雅美(あんらく まさみ・単立バプテスト望刈教会)、稲川 仁(いながわ ひとし・宝塚バプテスト教会)、海蔵隆志(かいぞう たかし・日本バプテスト連盟 都城キリスト教会)、近藤浩久(こんどう ひろひさ・日本バプテスト春日原キリスト教会)、南 雅夫(みなみ まさお・日本バプテスト連盟 伊丹キリスト教会)

【神学校献金(神学生奨学金献金)について】

【名称】神学校献金は従来から、西南学院大学神学部で学ぶ神学生(大学院生も含む)の授業料と生活費の一部を支えるため、奨学金という形で用いられてきましたが、2012年の連盟定期総会において連合立等の神学校で伝道者となるために学ぶ神学生にも用いられることになりました。そこで「神学校献金」の用途を明確にするため、2013年度より「神学校献金(神学生奨学金献金)」という名称に変更いたしました。

【用途】西南学院大学神学部神学生の奨学金並びに東京バプテスト神学校(専攻科)及び九州バプテスト神学校(牧師コース)で伝道者になるために学ぶ神学生に用いられています。

【内容】西南学院大学神学部神学生には1種奨学金の貸与と2種奨学金の給付をしています。東京バプテスト神学校と九州バプテスト神学校の神学生には、授業料の一部を奨学金として支弁しています。

【返還】西南学院大学神学部神学生の1種奨学金は貸与ですから、返還の義務があります。ただし、卒業後4年以上伝道の業に従事し、卒業後10年以内に1種奨学金の2割以上返還した場合、その残額の返還は免除されます。2種奨学金は給付なので返還の必要はありません(奨学金規程による)。なお東京バプテスト神学校と九州バプテスト神学校の神学生については、両神学校の奨学金規程により返還の適否が判定されます。

【献げ方】毎年6月に行われる神学校週間を用いて献金される教会・伝道所が多いと思いますが、年間を通して神学校献金を献げているところも増えています。全国壮年会連合は本活動を積極的に推進していますので、壮年の皆さまにはぜひ教会に働きかけていただき、教会全体の業となっていくことを期待しています。具体的な働きは『壮年会連合ニュース』などでも紹介しています。